

「ILY-A」グッドデザイン賞



▲ビークル ▲キックボード ▲カート ▲キャリア

「ILY-A」はベビーカーとほぼ同じ大きさながら、ビークル、キックボード、カート、キャリアの4つの形態に変形し、若者からアクティブシニアまであらゆる年代が、さまざまなシーンで活用できる近未来のパーソナルモビリティ。

「ILY-A」はベビーカーとほぼ同じ大きさながら、ビークル、キックボード、カート、キャリアの4つの形態に変形し、若者からアクティブシニアまであらゆる年代が、さまざまなシーンで活用できる近未来のパーソナルモビリティ。

非常に複雑な課題設定であるが、ロボティクスの技術を盛り込みシンプルでデザインにまとめることに成功した。乗り物ならではのワクワク感も

furo 技術を集約

「ILY-A」はベビーカーとほぼ同じ大きさながら、ビークル、キックボード、カート、キャリアの4つの形態に変形し、若者からアクティブシニアまであらゆる年代が、さまざまなシーンで活用できる近未来のパーソナルモビリティ。

レベル高い発想 複雑課題クリア

非常に複雑な課題設定であるが、ロボティクスの技術を盛り込みシンプルでデザインにまとめることに成功した。乗り物ならではのワクワク感も

「未来づくり」評価

独創の4形態モビリティ

NEWS CIT

2015
12.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

2面 下川君が景観デザイン賞/主任研究員が研究奨励賞/第66回津田沼祭

3面 実験用高圧ガス保安講習会/第6回ホームカミングデイ/建都レクチャーシリーズに習志野市長/未来人「塩崎陽史さん」

4面 12月オープンキャンパス/ルミラージュちばに全面協力/訃報/新任紹介

未来体験場へ参加を

古田所長 国際ロボット展で呼びかけ

東京五輪年

本学furoが文部科学省とともに事務局を務める「ユニバーサル未来社会推進協議会」(会長 鈴木寛東大教授/慶応大教授)のフォーラムが12月2日、「2015国



来場50万人達成

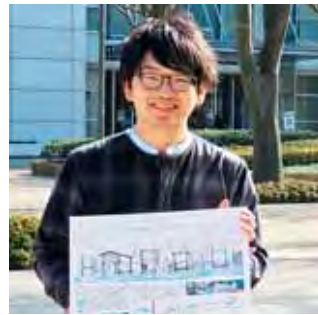
スカイツリータウンキャンパス 東京スカイツリータウンキャンパス(東京都墨田区押上・東京スカイツリータウン8階)が、開設から約3年半の12月6日・日曜日に、来場50万人を達成した。50万人目は、大田区から来た柏倉しえなちゃん(6)と弟お君(4)。お母さんと3人で初めて



入ったバッグを手渡された。写真は瀬戸熊理事長と柏倉さん親子。館内で係員に導かれてアトラクションを体験。しえなちゃん・お君は、エアリーのロボティックシャドウや魔法のカードが気に入った様子。しえなちゃんは「大きくなったらワタシも、こんな(楽しい)もの作りたい」と目を輝かせていた。

下川君 景観デザイン賞

船橋市の川辺で「舫う水景」



舫柱で構成された親水公園
舫う水景模型
下川君

建築都市環境学科4年の下川翔平君が、第2回関東学生景観デザインコンペティション(同コンペ実行委員会主催、船橋市後援)で景観デザイン賞を受賞した。

「舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。」

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

以前は海老川沿いに小舟が並び、舫柱の林立が見られた。東京湾の原風景でもある。下川君は現地へのリサーチや昔の川辺の景観を残す建築や、親水空間、街路空間のデザインを考案した。

下川君の作品は「舫う水景」。川沿いの漁村風景の再生を提案した。

原主任 研究奨励賞

移動ロボットの地図生成技術



移動ロボットの地図生成技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

原主任研究員は、過去から現在のスキャンデータを確率論に基づき蓄積する「SLAM」技術に関する研究奨励賞を受賞した。

絆を学外に広げて 来場2万人超えた

第66回津田沼祭

千葉工大の一大イベント「第66回津田沼祭(天学祭)」が11月20〜22日・金土日曜の3日間、津田沼キャンパスで開かれた。初日20日朝はあいにくの雨。午前9時半、近岡一磨実行委員長(機械サイエンス学科3年)が開会を宣言。雨足は次第に緩み、本学公式キャラクター「チバニー」の応援で祭りがスタートした。6号館を中心に各クラブ・サークルの活動成果発表、音楽系サークルの室内ライブ、鉄道倶楽部「friend」仲間を創る(T thanks)感謝を創る(一)と一文字ごとの願いをつないだ。これらを達成することで祭りに関わる全員が一つに

なり、最高の津田沼祭を創り上げたい、との思いを込めた。今年度は学外周辺団体、市民も参加して楽しめる取り組みに力を入れた。4大学・学部(本学、東邦大、日本大理工学部、生産工学部)合同企画や、前原商店街とのコラボ企画が登場した。21日のメインは、お待ちかね「お笑いライブ」。ゆったり感、ソラシド、P&M、鳥龍パークが次々に登場、トリは今年度のM1グランプリ王者トレンディエンジェルが務め、会場の熱気は最高潮に。

今年度は学外周辺団体、市民も参加して楽しめる取り組みに力を入れた。4大学・学部(本学、東邦大、日本大理工学部、生産工学部)合同企画や、前原商店街とのコラボ企画が登場した。21日のメインは、お待ちかね「お笑いライブ」。ゆったり感、ソラシド、P&M、鳥龍パークが次々に登場、トリは今年度のM1グランプリ王者トレンディエンジェルが務め、会場の熱気は最高潮に。

今年度は学外周辺団体、市民も参加して楽しめる取り組みに力を入れた。4大学・学部(本学、東邦大、日本大理工学部、生産工学部)合同企画や、前原商店街とのコラボ企画が登場した。21日のメインは、お待ちかね「お笑いライブ」。ゆったり感、ソラシド、P&M、鳥龍パークが次々に登場、トリは今年度のM1グランプリ王者トレンディエンジェルが務め、会場の熱気は最高潮に。



ちびっこ手作り教室



実行委企画のハッピークリスマス



学内「模擬店街」を歩き交う人々



ステージ上では空手部の演武

ポーツタックリング、ちびっこ手作り教室は、今年も参加者でにぎやか。広場では連日、よさこいソーラン風神チームが演舞を繰り広げた。23日・最終日は、トク&ライブショーに人気タレントの吉木りさwithリンクSTARsが登場。多くのファンが開演前から会場を埋め、祭りの締めを華を添えた。模擬店は3日間通して

喜ばれた模擬店

近岡実行委員長の話 「CRAFT」という言葉とあり、津田沼祭に関わった全ての人たちと一緒に祭りを創り上げることができました。今年は参加98団体、来場者数2万1214人を記録。この数字は、歴代で一番大きな数字です。支えてくださった参加団体、地域、教職員の皆様、そして、津田沼祭実行委員会の皆様。本当にありがとうございました。

ついに、今回も

28年度 AO・推薦入試終了

平成28年度AO・推薦入学試験が、11月15日に行われた指定校制推薦入学試験(帰国生徒・外国人留学生・社会人)と、順次行った。志願者数の合計は1697人。また、編入学試験を11月14日に実施し、今年は15人が志願した。

推薦入学試験▽指定校制推薦入学試験▽特別入学試験(帰国生徒・外国人留学生・社会人)と、順次行った。志願者数の合計は1697人。また、編入学試験を11月14日に実施し、今年は15人が志願した。



懇親会に在生も加わり話題が広がった



坂口さんとオセロ対決

この後、来年度からの工学部再編に伴う新学部・学科の創設について、

表と、市民の力をいかに街づくりに生かすかについて熱く語り合った。

今回の懇親会では、出身地域別に設けられた卒業生のテーブルに在生が直接交じって話をする形にしたことで、インタ

同窓会理事である鎌田元弘副学長（建築都市環境学科教授）が説明。

懇親会では最後に、学生応援団（生命環境科学科4年・鈴木海渡君ら）によるエールで出席者全員が円陣を組んで校歌と道徳歌を歌い、幕を閉じた。

決まった。習志野市は現在、大久保公園を中心とした京成大久保駅前の再開発計画や、老朽化が進む袖ヶ浦団地の活性化などで、全国に先駆けたりノベーションの方向性を検討中だ。宮本市長の参加の背景にはこれらのプロジェクトに市民パワーを活用する独自の「習志野方式」を構築したいという狙いもあるようだ。

建築都市環境学科レクチャーシリーズ「Beyond-Architecture / Urbanism / Environment」をテーマに6回の講演会が行われた。

同窓会の本年度第2回評議員会が11月21日、開催され、その後、2年に1度卒業生が集って、旧交を温めながら母校の発展をその目で見ようというホームカミングデイが開かれた。

第6回を迎えた今年の出席者は全国から約400人。特に今回は開通したばかりの、北陸新幹線に乗って母校へ帰ろうと北陸3県の支部から25人が参加。大学祭の中日という日もあってか4割が平成以後の卒業生。改めて「千葉工大」の歴史を振り返り、感慨にひたる卒業生が多かった。

出席者が母校の躍進ぶりをまず実感したのは小宮一仁学長のあいさつ。小宮学長は、今年春の一般入試で本学は日本の全大学782校の中で12番目に多い5万8888人の志願者を集めたことを報告し、「この数字は私が本学で教鞭を取るようになって以来、目標としてきた東京理科大学を抜いて、日本の理工系の大学の中で高校生に最も支持される大学になったことを示しています」と胸を張った。

懇親会であいさつに立った瀬戸熊修理事長は「若い卒業生の皆さんにも、ぜひ知っておいて頂きたい歴史がある」と前置きして、昭和17年に東京都町田市の玉川学園の敷地内に同学園の創立者、小原國芳氏の尽力で

創設されてから、幾多の試験を乗り越えてきた先達のご苦労を披露。多くの出席者は初めて聞く本学の苦労話にうなずいていた。

今回の懇親会では、出身地域別に設けられた卒業生のテーブルに在生が直接交じって話をする形にしたことで、インタ

懇親会では最後に、学生応援団（生命環境科学科4年・鈴木海渡君ら）によるエールで出席者全員が円陣を組んで校歌と道徳歌を歌い、幕を閉じた。

決まった。習志野市は現在、大久保公園を中心とした京成大久保駅前の再開発計画や、老朽化が進む袖ヶ浦団地の活性化などで、全国に先駆けたりノベーションの方向性を検討中だ。宮本市長の参加の背景にはこれらのプロジェクトに市民パワーを活用する独自の「習志野方式」を構築したいという狙いもあるようだ。

建築都市環境学科レクチャーシリーズ「Beyond-Architecture / Urbanism / Environment」をテーマに6回の講演会が行われた。

躍進の母校、OBも実感

第6回ホームカミングデイ

同窓会理事である鎌田元弘副学長（建築都市環境学科教授）が説明。

懇親会では最後に、学生応援団（生命環境科学科4年・鈴木海渡君ら）によるエールで出席者全員が円陣を組んで校歌と道徳歌を歌い、幕を閉じた。

決まった。習志野市は現在、大久保公園を中心とした京成大久保駅前の再開発計画や、老朽化が進む袖ヶ浦団地の活性化などで、全国に先駆けたりノベーションの方向性を検討中だ。宮本市長の参加の背景にはこれらのプロジェクトに市民パワーを活用する独自の「習志野方式」を構築したいという狙いもあるようだ。

建築都市環境学科レクチャーシリーズ「Beyond-Architecture / Urbanism / Environment」をテーマに6回の講演会が行われた。

決まった。習志野市は現在、大久保公園を中心とした京成大久保駅前の再開発計画や、老朽化が進む袖ヶ浦団地の活性化などで、全国に先駆けたりノベーションの方向性を検討中だ。宮本市長の参加の背景にはこれらのプロジェクトに市民パワーを活用する独自の「習志野方式」を構築したいという狙いもあるようだ。

建築都市環境学科レクチャーシリーズ「Beyond-Architecture / Urbanism / Environment」をテーマに6回の講演会が行われた。

高圧ガスは慎重に

研究室学生に保安講習会

実験用高圧ガスの保安講習会（産官学連携協議会・安全委員会共催、協

カと大陽日酸㈱など協力）が11月5日、津田沼校舎653教室で開かれた。

高圧ガスの関連法令▽取り扱いの基本▽ガスの性質▽容器・容器弁・圧力調整機器の取り扱い▽



建築都市環境学科主催のレクチャーシリーズに11月13日（於・津田沼校舎4号館）、習志野市の宮本泰介市長がパネリストとして加わり、コミュニティ・デザイナーの山崎亮さん（東北芸術工科大教授）、プロジェク

表と、市民の力をいかに街づくりに生かすかについて熱く語り合った。

山崎さんは全国各地の自治体などの依頼で、地域住民の力をまとめながらさまざまな公共施設の

リノベーションを行うプロジェクトに携わり、実績を上げてきた。

ともに大学では建築を学び、実社会で新たな領域を創造して、高い評価を得ているという共通点をもつ。この2人が建築都市環境学科のレクチャーシリーズで講演することを聞いた習志野市側の要請で宮本市長の参加が

決まった。習志野市は現在、大久保公園を中心とした京成大久保駅前の再開発計画や、老朽化が進む袖ヶ浦団地の活性化などで、全国に先駆けたりノベーションの方向性を検討中だ。宮本市長の参加の背景にはこれらのプロジェクトに市民パワーを活用する独自の「習志野方式」を構築したいという狙いもあるようだ。

建築都市環境学科レクチャーシリーズ「Beyond-Architecture / Urbanism / Environment」をテーマに6回の講演会が行われた。

習志野市長ら街づくり語る

建都レクチャーシリーズ

表と、市民の力をいかに街づくりに生かすかについて熱く語り合った。

山崎さんは全国各地の自治体などの依頼で、地域住民の力をまとめながらさまざまな公共施設の

決まった。習志野市は現在、大久保公園を中心とした京成大久保駅前の再開発計画や、老朽化が進む袖ヶ浦団地の活性化などで、全国に先駆けたりノベーションの方向性を検討中だ。宮本市長の参加の背景にはこれらのプロジェクトに市民パワーを活用する独自の「習志野方式」を構築したいという狙いもあるようだ。

建築都市環境学科レクチャーシリーズ「Beyond-Architecture / Urbanism / Environment」をテーマに6回の講演会が行われた。

高圧ガスの危険性と実例——などを受講するもの。学内集合配管のガスを使用している研究室の学生ら約150人と教職

員約20人が、高圧ガスとは何か、から実際に起きた事故まで、分かりやすく丁寧な講習を受けた。その後、受講者たちは

2号館1階「写真」に移動し、ポンペにレギュレーターを取り付ける作業を体験。後日、修了証が配布された。

表と、市民の力をいかに街づくりに生かすかについて熱く語り合った。

山崎さんは全国各地の自治体などの依頼で、地域住民の力をまとめながらさまざまな公共施設の

決まった。習志野市は現在、大久保公園を中心とした京成大久保駅前の再開発計画や、老朽化が進む袖ヶ浦団地の活性化などで、全国に先駆けたりノベーションの方向性を検討中だ。宮本市長の参加の背景にはこれらのプロジェクトに市民パワーを活用する独自の「習志野方式」を構築したいという狙いもあるようだ。

建築都市環境学科レクチャーシリーズ「Beyond-Architecture / Urbanism / Environment」をテーマに6回の講演会が行われた。

発見！ 未来人

株式会社杉田製線 製造グループ係長 塩崎 陽史さん

2005年、金属工学科卒

在学中は「連続鋳造による銅の単結晶組織製造」の研究に取り組みました。卒業研究で、透過型電子顕微鏡を使用して組織観察をするため、1日中、観察試料を作製していたことが印象に残っています。

製造グループは工場全般のモノづくりを支える部署です。現在の仕事は主に熱処理プロセスの製造管理を担当しています。社内のあらゆる部門の人とコミュニケーションを図りながら、日常の管理業務や改善、新設備導入、問題発生時の調査・分析、問題解決を行っています。

お客さまの要望は時代の移ろいとともに変化し続けています。それに先回



製造グループの職場で

りをして対応できる設備・作業方法を作り上げ、どこよりも早く最先端の製品を供給する、まさに技術者冥利に尽きる仕事だと感じています。

杉田製線は、下町に拠点を置く伝統企業。社員を大事にしてくれるアットホームな会社です。

事業内容	大正4年の創業以来、主として自動車、IT・OA機器などの部品となる、ねじ・ボルト・ばね・スプリングなどに加工される鋼線を製造し続けて今年で100年。さらなる飛躍を図っています。
所在地	〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-1-12

ルミラージュちばに全面協力

▼ デザイン科学科と文化会学生たち



オブジェが輝く千葉市中央公園と、点灯式のチバニー(左上)

千葉市の中心市街をイルミネーションで彩る「ルミラージュちば2015」(第25回千葉都心イルミネーション)が11月20日〜2016年1月13日(日)の点灯式が11月20日、千葉市中央公園で開催された。

本学も地域貢献の一環として企画・運営に全面協力。市民の参加意識を高め、街全体の活性化につながるよう「人とまちがつくるイルミ」のコンセプト設定や実行プランづくりにデザイン科学科の八馬智准教授、稲坂晃義助教、西山湧太さん(デザイン科学専攻博士前期課程1年)、イルミネー

ションMAPやポスター、フォトラリー用プレートの制作に同学科の長尾徹教授、小田裕和さん(同専攻博士前期課程2年)、近藤聡美さん(同1年)らが加わった。装飾前には市民によるクリーンウォークを開催し学生3人が参加。期間中の市民参加イベント「きぼーるワークショップ」には電子工学研究会(情報ネットワーク学科の中川泰宏助教と、中川研の学生6人)が協力した。点灯式スタッフにも文化会本部の学生4人が参加した。

中央公園の点灯式では瀬戸熊修理理事長もステージに登壇、地元ゆるキャラ集合にチバニーも加わり、カウントダウン。2、1の掛け声とともに午後6時、公園のメインオブジェ群が青、白のLED光を放ち、千葉駅前広場からケヤキ並木(中央公園プロムナード)はシャンパンゴールドのLED光約30万球で彩られた。

寒さが募る中、参加学生の1人は「点灯の瞬間市民の人々が喜びの声を上げる様子に、うれしくて寒さも吹き飛びました。いろいろな形で参加(市民とつながりを感じることができてうれし」と笑顔で話していた。

「大学生が楽しかった」「イルミネーションがキレイ」と感想を寄せた。クリスマス・イルミネーション・イベントは、7号館4階を中心に7ミニトリ、キャンドル、フィルムロケットなどの制作コーナー▽サイエンスショー▽ロボット操縦体験▽学科に直結するようなメディアアート▽新エネルギー材料を体験できる展示や工作実習などが並んだ。来場した人々は「いろいろな体験

室、工作センターを見て、展示物や機器の数々に好奇心を募らせていた。2号館3階の大教室では、4月から新たに設置される新学部学科を含めた17学科の教員らがブースを設置し、各学科の詳細について、来場者たちの質問に答えた。大教室には「進学相談」「在学生に聞いてみよう」のコーナーも併設され、来場者らは教員、学生、職員の声を聞いて回った。前回好評だった学生企画

学科相談コーナー



メディアアート



コンピュータ演習室で



科の岡本良夫教授が12月



電情・岡本教授が死去

5日、急性心筋梗塞のため死去した。61歳。岡本教授は昭和63(1988)年4月、当時の電気工学科に助教として就任。平成9年に教授となった。

立ち上がったすべての研究センターということもあり、なにか新しいことをしようという野心があらわれていた研究所です。今後は研究センターの核となるミッションに関わっていきたいと思っております。

専門分野はプログラミング言語の理論と実装、プログラム検証など。趣味はプログラミング、将棋。

秋葉拓哉 研究員

第一印象はチームを超えた温かい交流があり、活発な意見交換が行われる良い研究チームだと思えました。今後は自分の技術でチームの目標をサポートしていきたいと考えています。

専門分野は大規模データ処理のアルゴリズム。趣味はプログラミング。



新任紹介 (敬称略) 人工知能・ソフトウェア技術研究センター 安部達也 主任研究員

11月、この時期は、なんとといっても大学祭！この日に合わせて各種催し物が行われ、今年も通常と同窓会評議員会に加え、2年に一度行われる「ホームカミングデー」が開催されました。今回は、各支部の席を地域ごとに設け、若い方たちとも懇親を深められるよう

に工夫をいたしました。当日は400名を超える参加者があり会場も溢れんばかりの賑わいで、最後は恒例の応援団の工員により全員での校歌斉唱で幕を閉じました。ところで現役の学生の皆さん、本学は全国に50もの同窓会支部(地域支部)があることをご存知ですか？ 皆さんも社会に出ると多くの壁に遭遇すると思います。そんな時、同窓会支部に入っていると、いろいろな場面で皆さんの助けになるはずですよ。必ず助けになります！「めんごくさく」なんて言わず、特に、Uターン就職で地元に戻る方等は、是非、同窓会支部のドアをノックしてみてください。力強い味方になってくれるはずですよ。そして、「ホームカミングデー」に参加してください。又、皆さんと楽しいひと時を過ごしましょう。

研究支援部 近藤 誠

同窓会 11月、この時期は、なんとといっても大学祭！この日に合わせて各種催し物が行われ、今年も通常と同窓会評議員会に加え、2年に一度行われる「ホームカミングデー」が開催されました。今回は、各支部の席を地域ごとに設け、若い方たちとも懇親を深められるよう

四季雑感 街にはクリスマスのイルミネーションが輝き、来年の足音が聞こえてくる季節となりました。1年間終わるのが、年々早く感じられます。

イル派に分かれるみたいですが、どちらにしても最初とりかかるのはものすごく億劫です(筆者だけかもしれない)。しかし、いざエンジンがかかると一人一人の顔が思い浮かびながら進んでいきます。「この人には今年お世話になったなあ」「彼とはしばらく会っていないけど、元気がいいな？」「去年、来ていないな、体調でも壊したのかな」などなど、「一人ひとりの絆」をしんみりと感じる季節です。

年が明ければ、逆「すごく頑張っているなあ」「元氣そうで何より」「あっ、今は海外勤務なんだ」などと、また想いを巡らせます。年賀のご挨拶もあわせて、一年の中で、多くの人に思いを馳せる季節が過ぎると、「仕事始め」本当にあつという間だな、と思えます。どうか、皆様よいお年をお迎えください。

教育センター 笠嶋 義夫

編集だより 連続テレビ小説「あさが来た」に夢中である。朝ドラでは初となる江戸時代後期から激動の時代の大阪を明るく元気に駆け抜けたおてんば娘と陽気にヒロインを支え続けるボンボン夫の「おもしろい夫婦」が日本の朝を

るく照らす物語だ。日本人の女性が表舞台に出ることがなかった時代に、企業経営者として、さらには女子大学を日本で初めて作る、女性起業家のパイオニアとして知られたヒロイン「あさ」。決して戦うのではなく柔らかな力の人々を巻き込みながら道を切り開いて行く様は、見ていて実に清々しい。

近年、本学でも教職員学生を問わず「あさ」

入試広報課 大橋 慶子

入試と、クリスマスと

12月オープンキャンパス

今年度最後のオープンキャンパスが12月6日(日)、津田沼校舎で開かれた。定着したクリスマス

マス・イルミネーションイベントも同時開催され、受験生も地域住民も楽しめる催しに、841人が来場した。

入学試験シーズン間近で、来場者の多くは受験生。入試ガイダンスや受験対策講座・数学、英語

に参加し、真剣に取り組む姿であふれた。

低学年向けの、本学の施設や学科、大学生生活を紹介する講座「集まれ！1、2年生」では入試広報課職員が丁寧に説明。高校生たちはものづくり展示やコンピュータ演習

に参加し、真剣に取り組む姿であふれた。

に参加し、真剣に取り組む姿であふれた。